

山口のりひさ 県議が6月28日、6月県議会（6/20～7/5）一般質問に立ちました。質問と答弁の要旨を紹介します。



＊ ＊ 長野県公立高校入学者選抜制度（案）について ＊ ＊

山口 2022年春から制度見直しが行われるが、内容は複雑で不安や懸念の声もある。県民への説明会などを設けるべきではないか。

教育長 中学校進路担当の先生方、市町村教育委員会等と意見交換をする。パブリックコメントを含め、関係者、関係団体の幅広い意見等を聞いて成案につなげる。

山口 新制度を検討してきた検討委員会責任者も、「中学生や保護者などの意見を丁寧にふまえ、子どもが良かったと思える制度を」と発言している。子どもや保護者の意見表明の場を求める。

＊ ＊ リニア中央新幹線関連工事に関して ＊ ＊

山口 JR東海は、関連工事の残土を中川村の村有地を仮置き場としていたが、村に説明もなく移動させた。これは、県も村も承認していない半の沢の大規模盛り土事業を、勝手に進めていたことになる。この問題の受け止めは。

知事 JR東海が対策協議会において、お詫びをしたと聞いている。JR東海に対し、地元と顔の見える信頼関係を構築するよう強く働きかける。

＊ ＊ 公文書管理条例について ＊ ＊

山口 現在、県は各課にいる文書主任が適正管理を徹底しているというが、文書主任も含めて文書管理を指導、支援する第三者の専門職の関与が重要ではないか。

総務部長 文書管理における専門人材を養成・認定する制度が始まっていることは承知している。文書管理にあたる職員が、専門性を身につける機会を確保することが必要と考える。

山口 専門職のレコードディレクターならびにアーキビストなどの育成・養成、その職務の執行を強く求める。

＊ 質問を終えて ＊

入試制度の見直しは、ほとんど知られていません。その上、子どもや保護者の声を直接聞かないのは、納得できません。このままでは混乱を招きます。丁寧な説明や意見表明の場を引き続き求めていきます。